

## R3.10.20(水)開催 飯塚医師会 社会資源広報・成果指標 WG 委員会における勉強会での話題提供を実施

令和3年10月20日(水)、飯塚医師会 社会資源広報・成果指標 WG 委員会における勉強会にて、  
当院 認知症医療センター室長の江頭が『認知症の観点から飯塚医療圏域における成果指標について考える』という  
テーマで話題提供させていただきました。

本委員会は、飯塚市、嘉麻市、桂川町の行政職員を始め、福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所、飯塚医師会、  
飯塚歯科医師会、飯塚薬剤師会、飯塚地区消防本部、飯塚市居宅介護支援事業所連絡協議会、嘉麻市居宅介護支援事  
業所連絡協議会、桂川町居宅介護支援事業所連絡協議会、嘉飯 PT・OT・ST 連絡協議会、福岡県介護支援専門員協会、  
福岡県介護福祉士会、福岡県栄養士会、福岡県医療ソーシャルワーカー協会の所属している専門職などにて構成され  
ています。

江頭は福岡県医療ソーシャルワーカー協会の推薦を受けて、本委員会に所属しています。

勉強会の中では、飯塚医療圏域における成果指標について、江頭がストラクチャー指標、プロセス指標、アウト  
カム指標の観点から、飯塚医療圏域における現状を参加された委員の皆様とのクイズ形式で報告しました。本勉強  
会を通じて、参加者の皆様と認知症の方を取り巻く環境について情報共有はできたと思いますが、政策の面から認  
知症に特化した統計データがなかなかないことを課題として、今後、国会で審議予定の認知症基本法の成立がこの  
課題を解決するカギになるのではないかと問題提起し、話題提供を終了しました。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、このような機会を頂きました、飯塚医師会様始め WG の委員の皆様  
方への感謝と勉強会の報告にあたり、情報提供して頂いた、福岡県、福岡県警運転免許管理課、飯塚医師会、飯塚  
市、嘉麻市、桂川町の方々に御礼申し上げます。

**①ストラクチャー指標**  
■認知症キャラバン・メイト受講者数  
「認知症サポーター養成講座」を企画・開催し、講師を務めます。  
講師開催をきっかけに、住民から相談を受けたり関係機関との連携を図ったり  
することを通じ、地域のリーダー役となる役割が期待されています。  
キャラバン・メイトになるには、自治体または企業・職場団体が実施する  
キャラバン・メイト養成研修を受講する必要があります。

◇全国	→	キャラバン・メイト数	168,680人	[令和3年6月30日]
◇飯塚市	→	キャラバン・メイト数	176人	[令和3年6月30日]
◇嘉麻市	→	キャラバン・メイト数	136人	[令和3年6月30日]
◇桂川町	→	キャラバン・メイト数	50人	[令和3年6月30日]
※メイトとサポーター—人あたり担当高齢者人口				
◇飯塚市	→		3.4人	[令和3年6月30日]
◇嘉麻市	→		4.7人	[令和3年6月30日]
◇桂川町	→		3.3人	[令和3年6月30日]

